

令和元年度 1級建築施工管理技術検定 実地試験  
GET 研究所 解答速報 (試案)

**問題1 施工経験記述**

施工経験記述(品質管理)であるため、解答例は省略します。

**問題2 施工計画**

**1. 荷受け構台についての検討すべき事項と留意点**

- ①2階～3階ごとに1箇所程度を、材料の取込みや水平運搬がしやすい場所に設置する。
- ②荷受け構台の転用に備えて、移動方法・転用位置や、移動に使用する機械を定めておく。

**2. 鋼板製仮囲い(ゲート及び通用口を除く)についての検討すべき事項と留意点**

- ①建地間隔が適切になるよう配置し、横地材にボルトで鋼板を緊結する。
- ②単管を十分な深さまで打ち込み、斜材・横地材と単管を、クランプで相互に緊結する。

**3. 工事用エレベーターについての検討すべき事項と留意点**

- ①ゲートからの動線に近く、搬入・搬出が容易で、設置替えを必要としない配置とする。
- ②工事用エレベーターの駆動方式は、安全性が高く簡便なラックピニオン駆動方式とする。

**問題3 躯体工事**

**1. 地盤アンカーによる山留め支保工の留意事項**

- ①地盤アンカーの先端が敷地境界の外に出るときは、隣地所有者の承諾を得る。
- ②地盤アンカーの定着は、グラウト材の効果を確認した後に、緊張させて行う。

**2. 鉄筋の組立てを行う場合の留意事項**

- ①アーク溶接継手では、隣接する継手位置は、相互に400mm以上離して配筋する。
- ②鉄筋のあきは、粗骨材最大寸法の1.25倍以上かつ呼び名の1.5倍以上かつ25mm以上とする。

**3. 普通コンクリートを密実に打ち込むための留意事項**

- ①小山にして荷卸しを行うことで、コンクリートの材料分離を抑制する。
- ②コンクリートの内部振動機の挿入間隔は、60cm以下とする。

**4. 鉄骨工事における建入れ直しの留意事項**

- ①建入れ直しのために加力するときは、加力部分を養生する。
- ②建入れ直し用ワイヤロープの取付けピースは、あらかじめ鉄骨本体に取り付けておく。

#### 問題4 仕上げ工事

1. 最も不適当な箇所番号③ 適切な語句又は数値 240[°C]
2. 最も不適当な箇所番号① 適切な語句又は数値 5[分]
3. 最も不適当な箇所番号① 適切な語句又は数値 タイトフレーム
4. 最も不適当な箇所番号③ 適切な語句又は数値 600[mm]
5. 最も不適当な箇所番号③ 適切な語句又は数値 木ごと
6. 最も不適当な箇所番号① 適切な語句又は数値 オーバーラッピング
7. 最も不適当な箇所番号① 適切な語句又は数値 パテかい
8. 最も不適当な箇所番号① 適切な語句又は数値 1[時間]

#### 問題5 施工管理

1. 作業A2及び作業B2の作業内容  
柱の配筋
2. 作業B7のフリーフロート  
7日
3. 総所要日数と工事完了日  
総所要日数 22日 工事完了日 11月25日
4. 当てはまる語句又は数値  
Ⓐ [作業]A5    Ⓒ 3[日]

#### 問題6 建築法規

1. 建設業法の語句  
① 施工計画    ② 指導監督
2. 建築基準法施行令の語句  
③ 5[m]        ④ 鉄網
3. 労働安全衛生法の語句  
⑤ 労働災害    ⑥ 協議組織